



# Luci FLEX Cove System

ルーチ・フレックス コーブ システム セット ブラック  
ルーチ・フレックス コーブ システム セット ホワイト

## 取扱説明書

株式会社 **Luci**

〒107-0052 東京都港区赤坂4-13-13 赤坂ビル4F

TEL : 03-6327-7409 FAX : 03-6327-7410

URL : <http://www.luci.co.jp>

### 製品仕様 ※単位はmm

番号	部品名	材質など
①	LFCSプロファイル ブラック/ホワイト (型番: LFCS-PF1250-BK) (型番: LFCS-PF1250-W)	アルミニウム ブラック/ホワイト
②	LFCS用エンドキャップ ブラック/ホワイト	ポリカーボネート ブラック/ホワイト
③	LFCS用クロスパーツ	ポリカーボネート 透明
④	LFCS用取付クリップ	ポリカーボネート 透明
⑤	LFCS用ジョイントテープブラック	
⑥	FCS用ディフューザトップカバー	ポリカーボネート 乳半
⑦	チューブキャップ	ポリカーボネート 透明

<p>① LFCSプロファイル ブラック/ホワイト (型番: LFCS-PF1250-BK) (型番: LFCS-PF1250-W)</p>	<p>② LFCS用エンドキャップ ブラック/ホワイト (型番: LFCS-EC-BK) (1セット/1袋) (型番: LFCS-EC-W) (1セット/1袋)</p>	<p>③ LFCS用クロスパーツ (型番: LFCS-PT-B) (7個/1袋)</p>
<p>④ LFCS用取付クリップ (型番: LFCS-PT-A) (5個/1袋)</p>	<p>⑤ LFCS用ジョイントテープ ブラック/ホワイト (型番: LFCS-JT-BK) (5枚/1台紙) (型番: LFCS-JT-W) (5枚/1台紙)</p>	<p>⑥ LFCS用ディフューザトップカバー (型番: LFCS-CT1248)</p>
<p>⑦ チューブキャップ (2個) (型番: LFP-TC)</p>		

### まずはじめに

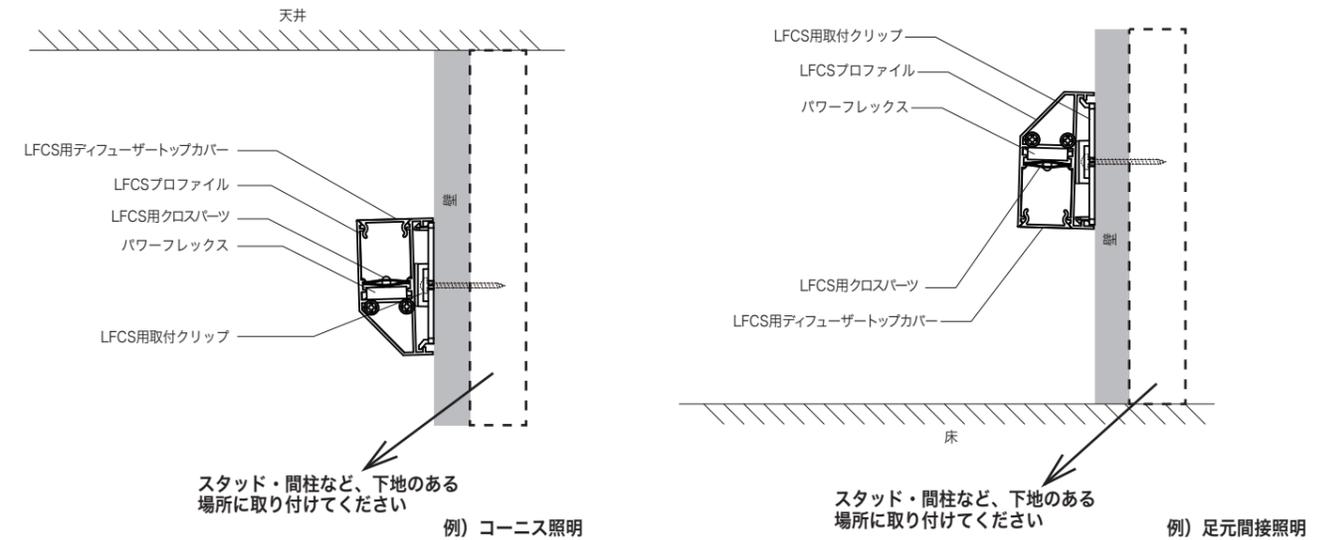
●本製品は照明器具ではなく、照明器具を取り付ける**専用部材**です。対象の照明器具と一緒にご使用下さい。

対象製品
ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mmピッチ
ルーチ・パワーフレックス EX 特注品 20mmピッチ

#### お客様でご用意いただくもの

1	墨出し機など
2	高速カッター、または チップソーなど ※プロファイル、カバーなど切断用
3	電気ドリル+ホルソー ※配線穴あけ用

### 取り付け方法：設置イメージ

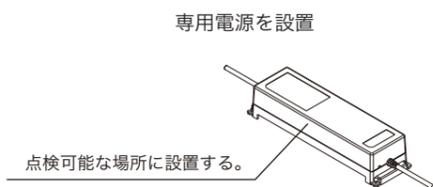


※断熱施工には対応しておりません。本体の側面の半分以上が空気に触れている環境でご使用下さい。  
※設置する場合は手の届かない場所に取り付けて下さい。  
※下地に軽鉄または木材などがある場所に取り付けてください。ボードのみの設置では落下します。

### 取り付け手順

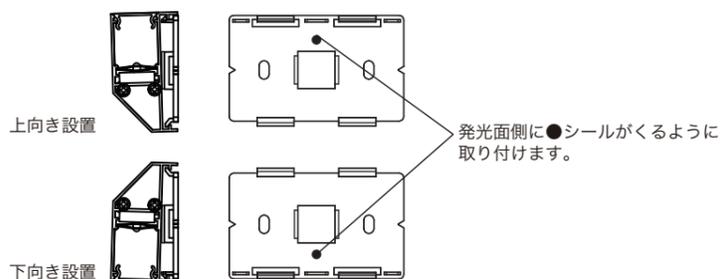
#### 1 取り付ける場所に、スミ出しをする

■ 専用電源を設置、配線し、プロファイルを取り付ける場所にスミ出しをします。スミ出しを行い取付クリップの取付位置が一直線になっていないと、プロファイルが取り付けられません。また、電源は施工後に点検可能な場所に設置してください。

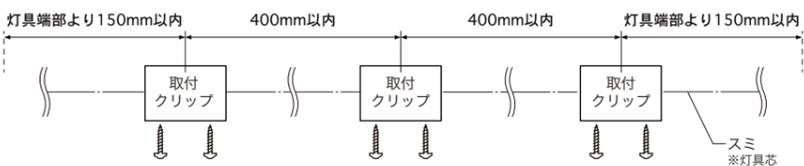


#### 2 LFCS用取付クリップをスミに沿って取り付ける

■ 取付クリップの●シールの位置に注意してください。



**注意** 取付クリップの上下を間違えないよう、ご確認ください。

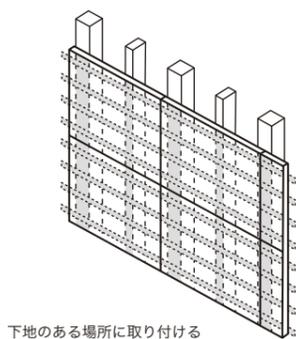


※必ずM4なベネジで2カ所ずつ固定してください。合わないネジを使用すると落下等の恐れがあります。

プロファイル 1本あたりの 推奨クリップ 取付数	プロファイル長さ1000mm以上の場合	プロファイル長さ999~500mmの場合	プロファイル長さ500mm未満の場合
5カ所 取付	1000~ 	501~999 	~500 

#### 注意

ボードに取り付ける場合には、軽鉄または木材などが下地にある場所に取り付けてください。ボードのみでは取付状態を保持できず落下します。また、付属の取付ねじが下地に届かない場合には、適切な長さのねじを使用してください。



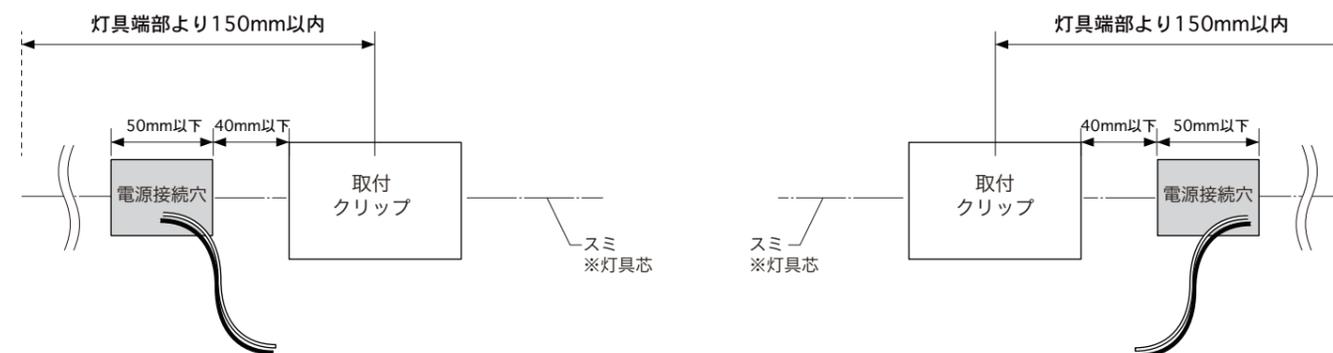
下地のある場所に取り付ける

#### 3 配線の位置を決め、穴をあける

■ 専用電源からの配線を出す穴をあけ、電源出力からケーブルを出しておきます。

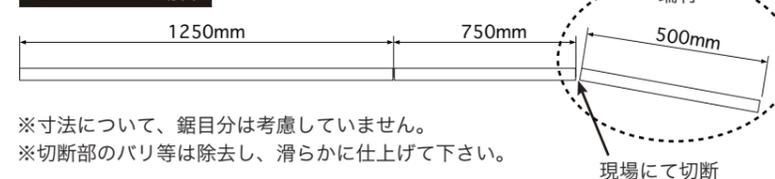
灯具左側より配線を出す場合の例

灯具右側より配線を出す場合の例



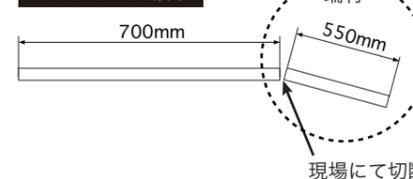
#### 4 プロファイルが必要な長さ分に揃える

■ 2000mmの場合



※寸法について、鋸目分は考慮していません。  
※切断部のバリ等は除去し、滑らかに仕上げてください。

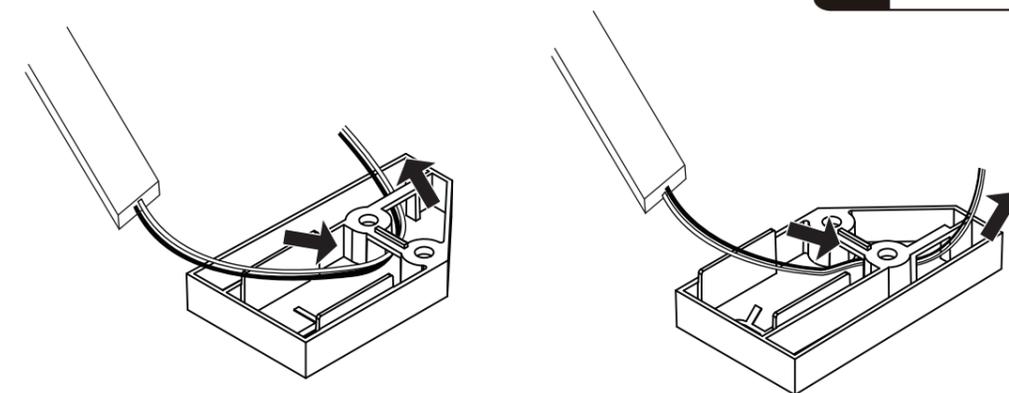
■ 700mmの場合



#### 5 パワーフレックスのリード線をエンドキャップに通す

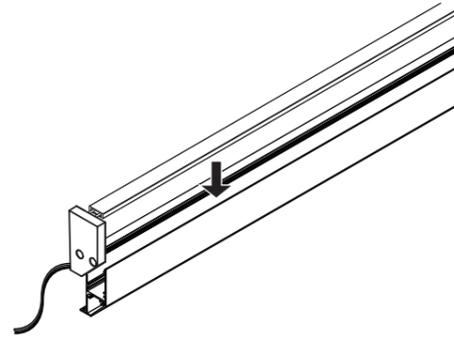
■ エンドキャップの通し穴2ヶ所に、パワーフレックスのリード線を通します。

**注意** 灯具のリード線を強く引っ張らないでください。



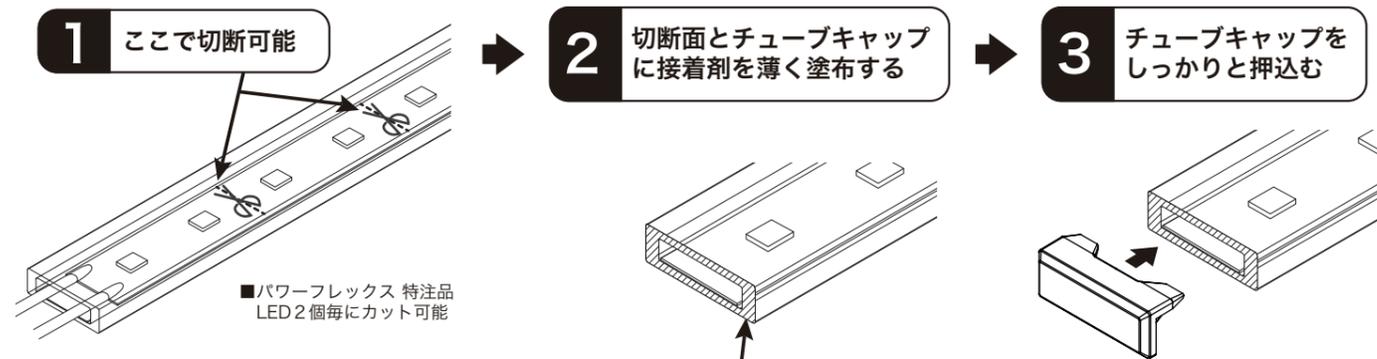
### 6 パワーフレックスを取り付ける

※事前に必要な長さでパワーフレックスを別途ご注文下さい。



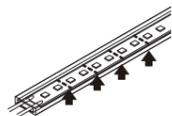
#### 6-1 パワーフレックスの長さを調整する場合

■ 取付時に寸法調整が必要になった場合はカット可能箇所で切断できます。

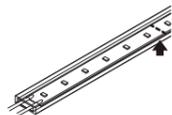


ルーチ・パワーフレックスの切断の最小単位はタイプにより異なります。切断箇所を誤りますと不点灯の原因となりますので、お間違えのないようお気をつけ下さい。

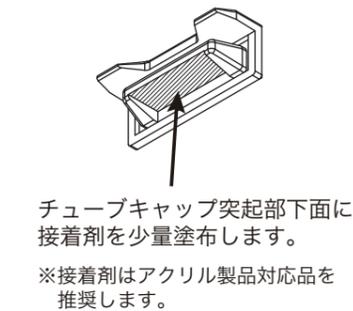
■パワーフレックス 特注品  
LED 2個毎にカット可能



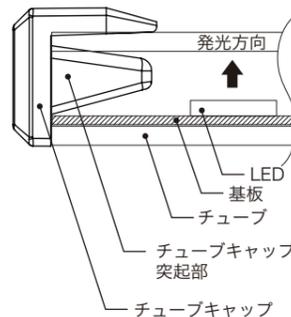
■パワーフレックス EX特注品  
LED 6個毎にカット可能



切断面に接着剤を薄く塗布します。



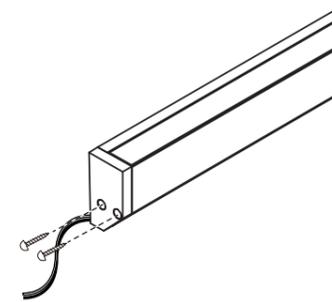
※下図の様にチューブキャップ突起部が基板の上に来るように挿入して下さい。



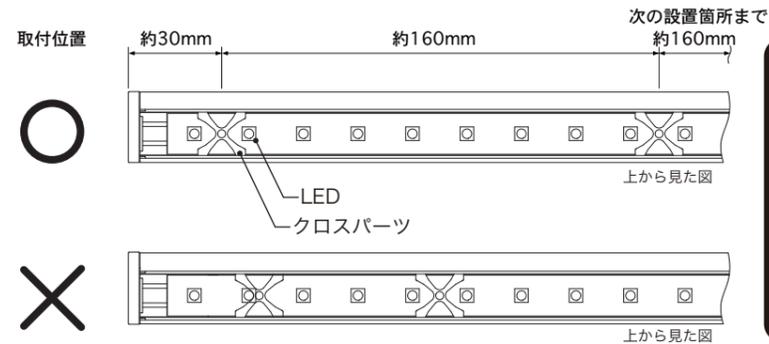
### 4 数時間、待って乾燥させる

### 7 エンドキャップを付属のネジで取り付ける

※リード線をエンドキャップで挟まないようご注意ください。



### 8 クロスパーツの配置箇所を決める



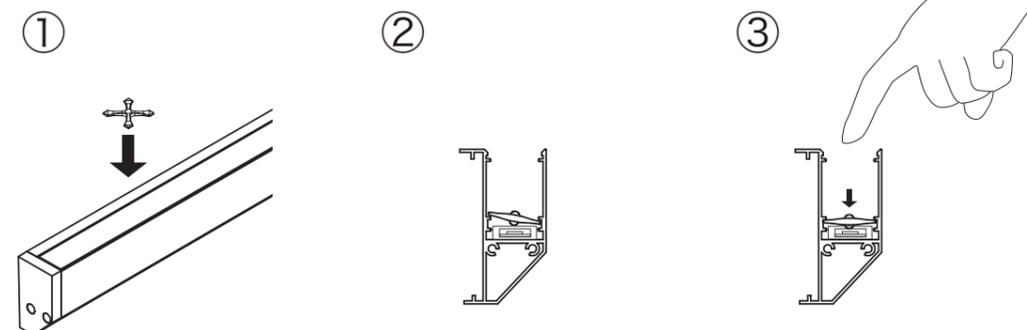
**注意**

※LED灯具1mにつきクロスパーツを必ず7個以上を均等に取り付けて下さい。数量が足りない場合灯具の落下や垂れが発生する恐れがあります。  
※クロスパーツはLEDに掛からないように配置して下さい。LEDの上に乗せると灯具が破損する恐れがあります。

※パワーフレックス特注品20mmピッチの場合の例です。

※プロファイルをカットして使用する場合は上の図の寸法を目安に取付個数を決めて下さい。取付数が少ない場合、灯具が垂れてくる恐れがあります。

### 9 クロスパーツを指で押さえ、パワーフレックスを固定する



クロスパーツの位置を決めプロファイル内部に落としします。  
(裏表、方向はありません)

ナナメに引っかかった状態となります。位置の微調整をおこないます。

クロスパーツの中心を、指でパチッと音がするまで押込んで下さい。

**注意**

クロスパーツを嵌め込んだ後に位置調整を行わないで下さい。  
LEDが破損する恐れがあります。

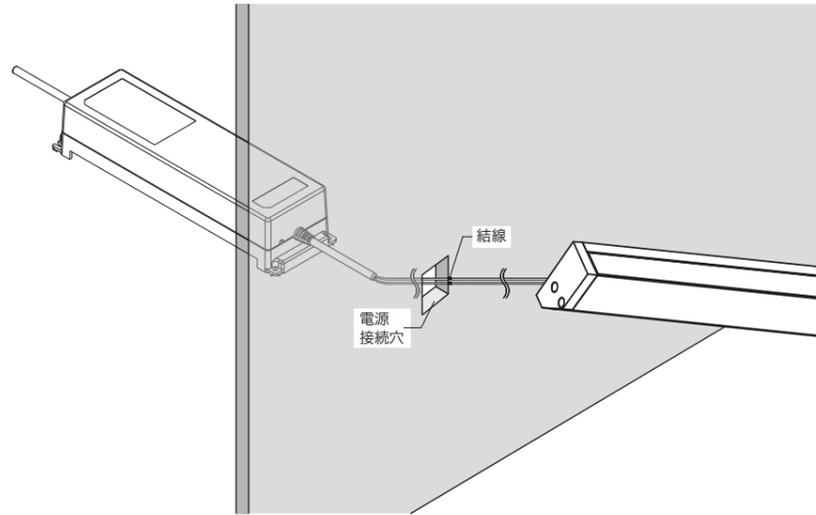
**注意**

灯具の切断面が直角となるように切断してください。切断面が斜めの状態ですと、チューブキャップが正しく挿入できず、隙間が出来て虫や異物が入るおそれがあります。



### 10 電源と配線ケーブルを結線する

■ 1で設置した電源と配線ケーブルを結線します。



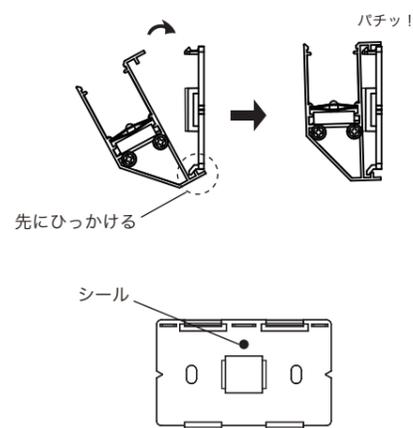
### 11 取付クリップに取り付ける。

■ 2で設置した取付クリップに取り付けます。

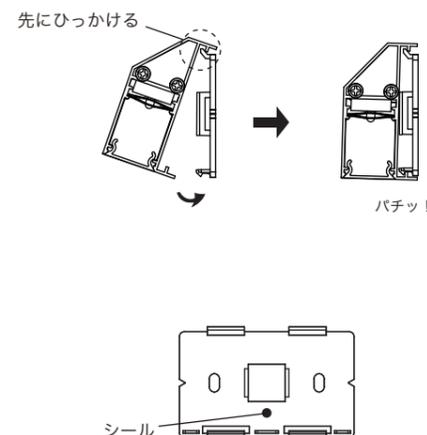
- ・ 灯具をパチッと音がするまで嵌め込んでください。
- ・ がた、歪みがないか確認してください。
- ・ 取り外す際はクリップの破損等に十分ご注意ください。

**注意** 取付クリップの上下を間違えないよう、ご確認ください。

上向き設置の場合

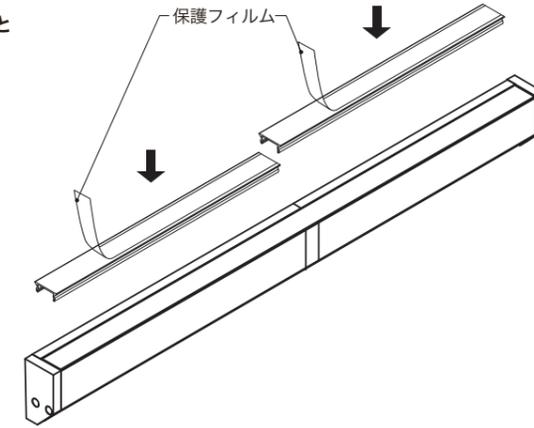


下向き設置の場合



### 12 ディフューザートップカバーを付ける

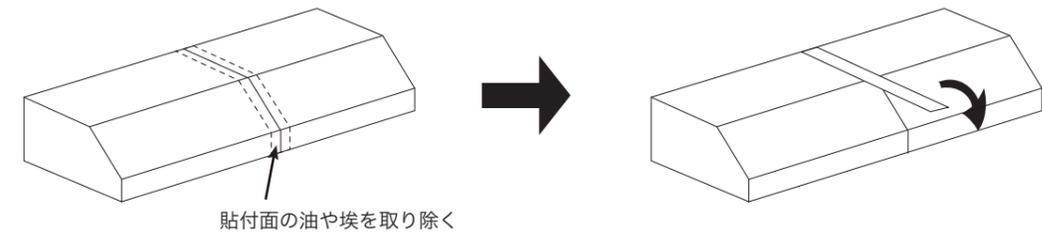
※パチッと音がするまでしっかりと押込んで取り付けて下さい。



※ディフューザートップカバー表面の保護フィルムをはがしてから取り付けて下さい

### 13 本体を組み立てる

■ プロファイルを2本以上つなげる場合は、プロファイル付属のジョイントテープを合わせ目に貼りつけます。貼付面の油・埃等を取り除いてから、貼りつけてください。



## 保守・点検について

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点灯時間が増えると照明器具の部品は熱の影響により劣化し、安全面での問題が発生しやすくなるだけでなく電気効率も低下しますので、定期的な点検・交換をおすすめします。
- 半年に1回は、清掃・点検を実施してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

#### 点検方法について

- LEDは正常に点灯していますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- 各部材、合わせ目に割れ、裂け、脱落などはありませんか。

#### 清掃方法

- 灯具を柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れが酷い場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を染み込ませ、よく絞ってから汚れを拭き取ります。仕上げに水拭きしてからそのまま乾かします。